

# ふるさとを語る

## 九州・山口財界人国記

大分市内の実家では、縁日で購入したひよこから成長したニワトリ、犬、ウサギ、亀、ザリガニなど、多くの生き物を飼っていました。そんなこともあって、小学生の時は理科の実験が大好きでした。家の中には試験管やビーカーが所狭しと並んでいました。

発明にも熱中しました。ガムの自動販売機や、忘れ物したらプザーが鳴る機器などを開発したことがあります。中学時代はアマチュア無線に入社し、ロシアの奥地やマニラ諸島の人々と交信しましたね。

高校は進学校として知られる大分雄城台高校に進みます。生徒会活動に携わっていたこともあって、人前で話すのは得意になりました。学内の弁論大会で優勝したこともあります。

当時、はまったテレビドラマ

かわの・たかてる 大分県立大分雄城台高校、慶応義塾大商学部卒。平成8年伊藤忠商事、日本オンライン証券(現カブドットコム証券)、イーバンク銀行(現楽天銀行)取締役を経て、17年8月ティーケーピー設立、現職。41歳。大分県出身。



「ルールがない場所を選んだ」と語る河野氏

### ティーケーピー 河野貴輝さん

マが「都会の森」。主役の高嶋政伸さんが演じる弁護士に憧れるようになりま。このため文系コースに進みますが、何しろ得意だった教科は数学だけ。受験はずいぶん苦労しましたね。

小学校から高校にかけてのライバル的な存在だった友人も、同じように法曹界を目指していました。

慶応義塾大学時代はアルバイトと株の投資に熱中しました。

ですが、株では勉強不足がたり、痛手を被りました。

# 店番で培ったベンチャー魂

雪辱しようとして、この世界でプロになることを目指したのであります。

希望職種に就ける「目的別採用」を導入していた伊藤忠

商事に就職。2年目からディラーとして働きました。ダイナミックに売買ができ、魅力的な仕事でしたね。

その後、日本オンライン証券

券(現カブドットコム証券)の設立にかかわるわけですが、参画メンバーの中には寝袋持参で目をらんらんと輝かせながら働く人も少なくない

と。そして平成17年に貸し会議室ビジネスのティーケーピー(TKPE)を設立しました。

当社は業界最大手となり、

った。「商社に行つて有頂天になっていないか。ベンチャー魂を忘れていないのか?」といった思いが募るようになっていった。

実は幼い頃から自ら商売することに関心がありました。祖父は事業家。夏休みには経営する別府市内の海の家で店番をしたり営業に同行していたからです。印象的な仕事も別府で経営していたスポーツ用品店。店舗にカタログを置いて注文を請けるといった、通販のはしりのような事業でして、傍で見ていて勉強になりました。

そんな思い出が鮮やかに蘇り、「ルールがない場所です生きていくのも素晴らしい人生だ」と思い、イーバンク銀行(現楽天銀行)の設立に関

ケータリングなど周辺ビジネスも巻き込むことによって業績も急成長。年間売上高は100億円を超えています。

実は高校を卒業した後、福岡市内の春吉の寮に住み、予備校の河合塾に通っていました。天神の書店の大きさに圧倒され「大分とは、こんなにも情報格差があるのか」と衝撃を受けましたね。そんなこともあって福岡は第二の故郷。当社初となる支店も、福岡市内に開設しました。

福岡の魅力は人が温かいところです。優秀な地場の企業も多く、都市機能もコンパクトにまとまっている。アジアの中心都市として、リトルトキーヨーのような形で成長する可能性を秘めています。福岡だけでなく九州全域には愛着を感じています。全体全体のバランスを考えながら九州での事業強化に向けたアクセラを踏みたいですね。

(伊藤俊祐)

次回はティールマークの日野三代春社長が登場する予定です。